

AUSTRALIA – JAPAN
50 years of Friendship and Cooperation
日本オーストラリア友好協力50周年

TAP
TOKYO CITY UNIVERSITY
AUSTRALIA PROGRAM

東京都市大学
オーストラリア
プログラム
2027

国内での準備教育と
オーストラリア留学
2年にわたる留学プログラム

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY
















Take a step

踏み出そう、世界へ。未来へ。
新しい自分へ。

学生時代は新しい自分を発見し、
将来の夢に向かって挑戦し始める大切な時期。
海外で学び、暮らすことは、
未来を切り拓くための第一歩になるはずです。
東京都市大学は独自の海外留学プログラムを通して、
今のあなたにしか得られない価値ある体験を提供します。

都市大の伝統である実践的な専門力を有した国際人の育成を目標として「英語で学び、英語で考え、英語で議論する」ことのできる学生を育てます。

「東京都市大学オーストラリアプログラム（TAP）」は、1年次からの準備教育と2年次約4ヵ月間の留学を合わせた2年に亘る本学独自の国際人育成プログラムです。このプログラムを通じて、国際的な視野とコミュニケーション能力を持った、時代に柔軟に対応できる国際人を育てます。留学先の西オーストラリア州は、さまざまな国の出身者が暮らす多様性に富んだ州です。このような恵まれた環境の中で、国際人としてグローバルに活躍するための語学力と異文化を理解する力を磨きながら、自主性や自立心を高めます。

TOPICS

「TAP」および「ATAP」は「日豪友好協力基本条約署名50周年」における周年事業に認定されました。

オーストラリアの大学との教育・研究交流を積極的に推進し、学生が国際社会で活躍するための学びの機会を提供してきた東京都市大学の長年に渡る取り組みが、今回の認定に繋がりました。今後も両国の友好関係のさらなる発展に貢献していきます。

TAPは10周年を迎えました！

これまでに累計2,500名以上の学生が参加し、国内大学の中でもオーストラリアへ派遣する最大のプログラムへと成長いたしました。



TAP10周年記念式典

文部科学省「令和5年度大学入学後の総合的な英語力の育成・評価に関する好事例」に選定されました。

右ページグラフ プログラムによる英語力の向上と留学の満足度

［対象：TAP23A/150名］









TAP 6つの魅力

1 4年間で卒業できる

留学期間中に取得した単位を、都市大の単位として認定するので
無理なく4年間で卒業可能です。

2 全学部・学環の学生が対象

全ての学部・学環の学生が参加可能。
学部・学環を越えて参加者が集まりますので、交友関係も広がります。

3 英語力は不問

留学に備えて、国内で1年間しっかり英語運用能力を鍛えるので
高校卒業時点で英語力に自信がなくても大丈夫です。
※国籍によっては、ビザの取得のため英語力の証明書を求められることがあります。

4 自然豊かなオーストラリア・パース

留学先は「世界一美しい都市」とも呼ばれる西オーストラリア・パース。
美しい自然と、多様性にあふれた環境で異文化を体験できます。

5 リーズナブルな留学費用

参加費用には、語学準備講座とオーストラリアでの授業料はもちろん、
航空券、アコモデーションの費用も含まれており、かなりリーズナブルです。

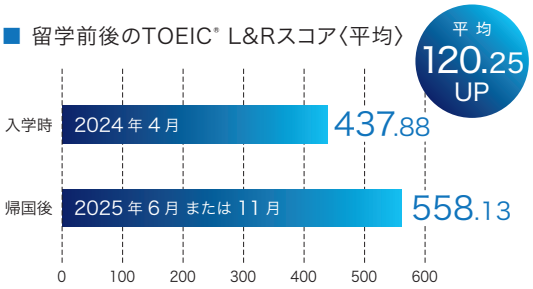
6 豊富な奨学金制度

TOEIC®の結果や、語学準備講座の成績、留学中の活躍に応じて
様々な奨学金が用意されています。

だから

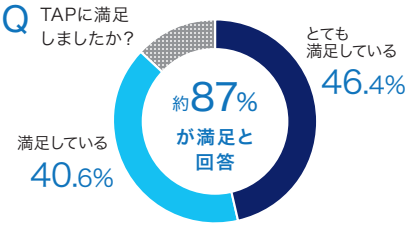
新入生の約4人に1人がTAPに参加しています。

■ 留学前後のTOEIC® L&Rスコア〈平均〉

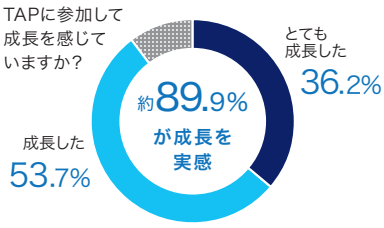


■ プログラム経験者 アンケート

Q TAPに満足しましたか？



Q TAPに参加して成長を感じていますか？





人前で話すことの苦手意識を
丁寧な1on1トレーニングで克服
現地でリーダーを務めるまで成長しました

もともと人前で話すのはあまり得意ではなく、さらに英語になると、どうしても苦手意識や恥ずかしさから「発言していいのかな」と身構えてしまうところもあったのですが語学準備講座のプライベートレッスンで丁寧に指導いただき、徐々に抵抗感がなくなりました。出発するときにはワクワクしていましたね。パースに着いたとき、空が広くて開放的な気持ちになったのを覚えています。語学準備講座の中で現地の文化や交通機関の使い方なども教わっていたので、生活そのものには不安はありませんでした。友達とサイクリングしたり、ビーチでサンセットを見たのもいい思い出です。日本文化を紹介するジャパンフェスティバルのリーダーを務め、大学の方への問い合わせを英文メールで行ったり、チームをまとめたり、留学前からは想像できないほど成長できたと実感しています。今でもときどき、学食の巨大なハンバーガーが恋しくなります。

セメスターブレイク中にゴールドコーストで乗った気球

TOEIC® SCORE

410 ▼ 605

大崎　良紗さん

都市生活学部 都市生活学科 4年
埼玉県立 不動岡高等学校 出身
2024年マードック大学留学

OSAKI Tsukasa

INTERVIEW　TAPを経験した先輩に聞く



コロナ禍で行けなくなっていた念願の海外
TAPで生活のための英語と
学術分野のための英語を学びました

中学生の時に留学に行こうとしていたところでコロナ禍があり、留学プログラムそのものが中止になってしまっていました。大学では絶対に留学したいと考える一方、建築の勉強をしたい思いもありました。TAPなら休学せずに留学できると知り、それが決め手になって都市大に入学。留学中はなるべくたくさんの人と話そうと思って、学生寮の交流スペースである「コモンルーム」に入り浸っていました。コモンルームではDJイベントやご当地料理のパーティがあり、それらに参加するうちに気の合う友人や、英語学習のモチベーションが近いTAP生と知り合うことができました。TAP全体の中では、特に学術分野に関する英文法を学べたのが大きかったです。論文らしい言い回しや文章の構成、言葉の言い換えなどを専門的に学べました。これからしばらく、建築の学習に集中するつもりです。自分の専門分野を磨いて、その先でまた英語を活かす機会を作りたいと思っています。

ヨーロッパの友人たちと行ったキャンプ

TOEIC® SCORE

580 ▼ 790

椎谷　薫さん

建築都市デザイン学部 建築学科 3年
新潟県立 新潟南高等学校 出身
2025年エディスコーワン大学留学

SHIIYA Tsugumi



日本での1年間の準備期間から
英語で会話する環境に身を置き
留学期間をフルに満喫

横路　雅也さん

メディア情報学部 社会メディア学科 3年
神奈川県 私立関東学院高等学校 出身
2025年エディスコーワン大学留学

YOKORO Masaya

TAPで初めての海外生活を経験しました。飛行機を降りた瞬間に、「ああ、外国に来たな」と感じて、テンションが上がりました。語学準備講座では、特に苦手だった文法やフォーマルな英語の使いかた、文章作成などを重点的に学びました。おかげでTOEIC®スコアが300ほど上がり、留学先での生活も思い切り楽しめたと思います。留学先では、勉強はもちろん、観光やショッピング、散策なども楽しかったです。パースには、広い公園がたくさんあるので、そこで遊んだり、地元のカフェに行ったりしていました。PART ⅠとPART Ⅱの間にセメスターブレイクがあり、まとまった休日が取れるので、3泊4日でシドニー旅行をしました。語学準備講座で基礎を固め、留学先では現地の文化に触れて、アカデミア領域の英語スキルも習得でき、手応えを感じています。帰国後もなるべく英語に触れられる環境に身を置くことにしています。これからも英語を使う機会を意識的に持ち、将来の仕事にもつなげたいです。

パース近くのピナクルズ砂漠にて

TOEIC® SCORE

500
▼
815



20ヵ国以上の友人ができました
今でも連絡をとりあっています
彼らの住む国にも行ってみたい

早川　太一さん

理工学部 機械システム工学科 3年
神奈川県 私立桐蔭学園高等学校 出身
2025年エディスコーワン大学留学

HAYAKAWA Taichi

子どものころから外国に行ってみたいという思いがあり、高校2年生でアメリカのロサンゼルスに2週間ほど短期留学して、そこで英語の面白さに気付きました。都市大に入学したのも、理系の学部を専攻しながら英語の学習と留学ができるのを魅力に感じたためです。留学先では、なるべくたくさんの人と交流できるように心がけました。寮では、ルームメイトのインドとスリランカからの留学生と食事をしたり、セメスターブレイクではドイツとポーランド出身の友人とキャンプに行ったり。寮生活の中で20ヵ国以上の国籍の友達ができ、今もSNSなどで連絡をとりあっています。英語力が上達した実感はもちろんですが、それ以上に「海外で4ヵ月間生活しきった」という自信がつきました。オーストラリアにもまた行きたいですし、寮で出会った友人たちの国にも行ってみたい。将来的にも英語を使う仕事に就きたいですね。この「世界が広がる感じ」、ぜひ体験してほしいです。

毎週木曜日に開催されていたフリスビーの仲間たちと

TOEIC® SCORE

375
▼
830

参加までの流れ

【 仮登録から本登録まで 】

入学前

- 仮登録
- 入学時
  - 英語基礎学力調査を実施
    入学者全員に実施するテストです。このスコアを元に選考します。
- 4月中旬
  - 選考
  - 選考結果発表
- 4月下旬
  - 本登録締め切り
    必要書類を提出して登録を行います。登録が完了すると「プログラム参加者」となり、正式に参加が認められます。

プログラムスタート

参加条件　新入生［入学時のみ］

概要の詳細 留学費用の内訳は P.12



Edith Cowan University

派遣先大学 | エディスコーワン大学

1991年創設と比較的歴史は浅いものの、過去11年連続でGood Universities Guide「Teaching Quality」部門で5つ星を獲得するなど、高く評価される公立大学です。3つの広大なキャンパスに約3万人が学び、そのうち留学生は約6,000人。100カ国以上から集まる学生との交流が異文化理解を促します。

MESSAGE

Dr. Helen Vella Bonavita

Associate Professor
Dean, International Relations &
TAP Program Director, Edith Cowan University



Dear TAP students,

Congratulations on your participation in TAP. For many of you, this will be the first time that you have travelled or lived overseas and you could not have chosen a better destination. The coastal city of Perth offers a fabulous climate, laid-back lifestyle, white sandy beaches and cute quokkas!

Edith Cowan University has a diverse student body including many international students. Every day you will have the opportunity to study and interact with young people from all over the world while practicing your English and intercultural communication skills. There will be many opportunities for community engagement through events and activities, making life-long friends and memories. We look forward to meeting you next year, and wish you an enriching and life changing experience.

国内で行う 1年間の準備教育

1年次

1年次前期・後期

実践的な英語運用能力を身につける

語学準備講座

［受講必須］

2時間×週5日

TOTAL **100日間開講**

TOEIC®SCORE **550**をめざす!

語学準備講座の詳細は P.6

約4ヵ月間の オーストラリア留学

2年次

［サイクルA留学］1年次2月～

［サイクルB留学］2年次8月～

所属する学部・学科によって留学時期が異なります

共同開発プログラムで学ぶ

語学と教養

PART I 7 weeks 英語科目 **4**単位※1

自分のレベルに合ったクラスで
他国からの留学生とともに学ぶ※2

PART II 6 weeks 教養科目 **8**単位※1

全体講義とフィールドサーベイなどで
能動的に参加する授業スタイル

留学先 西オーストラリア州 パース

派遣先大学 エディスコーワン大学 / マードック大学

※1：単位認定の科目区分は学部・学環・学科により異なります。
※2：レベルにより外国人留学生がいないクラスになることがあります。

TOEIC®SCORE **650**をめざす!

オーストラリア留学の詳細は P.8



Murdoch University

派遣先大学 | マードック大学 Murdoch University

1975年に創設された公立大学で、アジア研究や環境科学分野などの研究・教育で有名です。オーストラリア最大のキャンパスでは学生約1万3,000人が学び、そのうち外国人学生は約2,000人。広大ながらも学生と教職員との距離は近く、サポート体制の手厚い、国際性に富んだ大学として知られています。

MESSAGE



Kelly Smith Pro Vice Chancellor International Murdoch University

Murdoch University's Tokyo City University Australia Program is an exciting learning and cultural experience tailored especially for students from Tokyo City University. Your program includes several weeks of intensive English language tuition from our partner on the Murdoch University campus, followed by participation in specially designed Liberal Arts units. These units are designed to introduce you to interesting new areas of study, and give you an opportunity to learn some distinctive things about Australian culture, and natural and urban landscapes. You will also have opportunities to visit many natural and cultural attractions in Perth, Fremantle and beyond – both on organised outings and through independent travel. You will live in our vibrant University Village, sharing accommodation with students from diverse backgrounds, and you will be supported by a local buddy network to help you get the most from your experience.
I look forward to welcoming you to Murdoch University in Perth, Western Australia.







「準備教育」とは、オーストラリア留学を前に、
国内にて行われる「語学準備講座」と
「留学準備研修会」の総称です。

語学力と国際力の基盤を鍛え
国際人への第一歩を踏み出す

国内で行う準備教育

1年次には、留学をより実り多いものにするために準備教育を実施。
語学力はもちろん異文化理解、国際性を培い、大きな自信を育みます。

実践的な英語運用能力を養う

語学準備講座

出発までにTOEIC®550点以上の取得を目指し、ネイティブスピーカー講師による週5日のレッスンを、トータル100日間開講します。授業は日本語厳禁。3～7の能力別に細かく分けられた15名程度の少人数クラスで、グループワークなどを通して英語コミュニケーション力を鍛えます。

English Communication

スピーキング力、クリティカルシンキング力を高めるための授業です。毎回ペアワークやグループワークを行い、講師に教わった表現を用いて、テキストの内容についてディスカッションをしていきます。身近な話題からアカデミックな内容まで、英語で説明できる力を身につけます。

■ 初級クラスのトピック例

Same and Different / Love Your Job
High Tech, No Tech / Risk and Reward
Taking Action / Lost and Found / Breakthroughs

■ 準中級クラスのトピック例

Good Times, Good Feelings / Wild Weather
The Marketing Machine / Housing for The Future
Focus on Food / Exploring Space / Creative Arts
Our Relationship with Nature / How We Communicate

Writing&TOEIC®

Writing&TOEIC®のクラスは、Writing、TOEIC®、Australian Culture、Presentationの4つを学んでいきます。

Writing

英語で論文を書く方法を学び、各期数回エッセイ課題を行います。

TOEIC®

講座終了後にTOEIC® L&R 550点を取得できるよう、練習問題を扱います。TOEIC®の問題形式に慣れ、解答に必要なスキルを身につけていきます。

Australian Culture

留学に備えてオーストラリアの文化（スラング、大学生活の違い、Aboriginal Culture、食文化など）を学んでいきます。

Presentation

英語でのプレゼンテーション方法を学び、各期1回プレゼンテーションを実施します。

ネイティブスピーカー講師と40分間マンツーマンレッスン

プライベートレッスン

講師と1対1で英会話を行う個別レッスン。前期と後期に各3回、合計6回実施。英語の苦手分野の練習や、プレゼンテーション練習、Writing添削を行います。また、クラスレッスンで分からなかったことや疑問点など、知りたいことをなんでも質問できます。











海外生活の不安を解消する

留学準備研修会

海外経験が豊富なゲストやTAP修了学生による講演などにより、国際人として必要な知識、異文化理解力、コミュニケーション力を身につけます。また、TAP修了学生との個別相談や担当者からの渡航説明などにより留学の不安も解消できます。

Special Lecture

国際社会で活躍するゲストによる特別講演。留学に対するモチベーションを高めます。

- 使える英語の効果的学習法
- 西オーストラリア州とパースを知る
- 留学中の授業の受け方
- 留学時における安全管理 など

Life in Australia

TAPを修了した先輩からの講演。留学中の授業の受け方や寮での生活などを知ることが出来ます。先輩との個別相談も可能です。

What's 留学 ?

パスポートの取得方法などを詳しく説明しますので初めての海外留学でも安心です。

- パスポートの申請方法
- 質問相談コーナー
- クレジットカード等の紹介
- 持ち物リスト

語学準備講座講師からのアドバイス



積極的に授業を楽しむ!
それが語学力、
コミュニケーション力の
向上に直結します

Mr. Nathan Silitonga

オーストラリアで学び、生活し、異なる文化に触れ、たくさんの友達を作るには、土台となる語学力を鍛える準備教育がとても大切。完璧な文法通りでなくても、多少間違えても、かまいません。まずは笑顔で、しっかり相手の目を見て話すことから始めます。何よりアクティブに授業を楽しむことがスキルアップの近道。ちょっとしたゲームをしたり、オーストラリアの現地情報や好奇心を刺激する話をするなど、私たち教師も楽しんでもらえるよう工夫を凝らしています。もちろんすべて英語でやりとりするのですから、自然にコミュニケーション力が身についてきます。準備講座の初日と最終日を比べてみると、アイコンタクト、コミュニケーション、ライティング、あらゆる面で目覚ましく成長を遂げているはず。準備講座を受け持つのは今年で3回目ですが、皆さんだんだん自信あふれる表情に変わっていくので毎回驚かされています。

ネイティブスピーカー講師について

TAPのネイティブスピーカー講師陣は、英語圏（アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、アイルランド、ニュージーランド、南アフリカ）出身です。英語を母語としない人を対象に英語を教えるための国際的な指導資格「CELTA」を取得、または約1000時間以上の「英語で英語を教えた経験」を有しています。「CELTA」は、120時間以上の講義受講と教育実習が必要な、信頼ある資格です。講師は日本人に特化したレッスントレーニング、レッスンプラン作成、デモレッスンを受けており、日本人が間違えやすい文法、発音の強化、いかに学生が話しやすい雰囲気を作れるかなど、特別な指導技術を修得しています。











英語で理解し、考え、表現する
国際コミュニケーション力を手に入れる

オーストラリア留学

都市大と派遣先大学とで共同開発した授業では、
質問したり、意見を述べたり積極的な参加が求められます。

語学の強化に重点を置いた

PARTⅠ 英語科目

現地大学付属の語学学校で、さまざまな国の留学生と一緒に学ぶ※、「語学力の強化」に重点を置いたカリキュラム。レベル別クラスで、コミュニケーション力や英作文力、プレゼンテーション力に磨きをかけます。

※レベルにより外国人留学生がいないクラスになることがあります。

■ 英語科目でめざす英語スキル

- 幅広いテーマについてまとまった文章が書ける
- 自分がよく知っている分野に関する文章を読み、主旨を理解できるまたプレゼンテーションで継続した説明ができる
- 日常的な話題に関する情報を聞き取り、理解し、話の大意をつかむ
- 英語でエッセイが書ける

英語で理解し、考え、表現する

PARTⅡ 教養科目※ TCU ONLY

都市大と派遣先大学が共同開発した、TAP生だけで学ぶ教養科目を、全体講義とゼミ形式で行います。授業は派遣先大学の教員が担当。グループで課題に取り組むことも多く、ディスカッションも盛んに行われます。

※単位認定の科目区分は学部・学環・学科により異なります。

■ 科目の一例

Collaborative Design

グループでデザインの課題に取り組みます。デザインプロセスの管理力やコミュニケーションスキルを学びます。

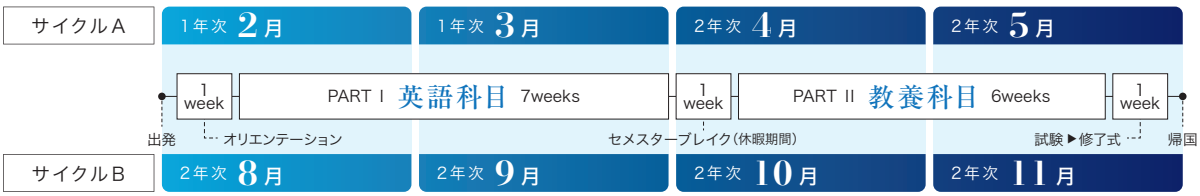
Social Cultural and Media Studies

国際関係とグローバル化の影響について考察。グローバル化の経済的、社会的、政治的側面などを幅広く検討します。

Urban Movement and Analysis

都市大科目「まちの観察」をベースにTAP向けにカスタマイズした共同開発科目。パース近郊でフィールドサーベイし、調査結果をまとめて、プレゼンします。

パースでの16週間





留学中の Life Style

留学中の授業や、寮での生活、週末の過ごし方など、
気になる留学中の1週間のモデルケースを紹介。

MODEL
Case.1
PART I

授業や寮生活で積極的に
コミットし、英語での
コミュニケーション力を
高めていこう。

1 Week Schedule

	8:30	Afternoon	Evening
MON	授 業	自由時間	自 習
TUE	授 業	課外活動	自由時間
WED	授 業	自由時間	自 習
THU	授 業	自由時間	
FRI	授 業	自由時間	
SAT	自由時間		自 習
SUN	自由時間		

※授業時間は、ECUは8:30〜14:30、MUは9:00〜15:00。授業のスケジュールは変更される場合があります。

Monday

月曜から金曜まで
しっかり語学授業
“使える英語”を徹底的に

グラマー、ライティングなど科目は多彩。都市大生のほか多国籍の学生と一緒に学ぶ。

※都市大生のみのクラスになる場合があります。



Tuesday

Japan Festivalの
実行委員はみんなで会議

実行委員は10数名。皆でアイデアを出し合い、実現可能性を検討していく。



Wednesday

午後は友だちづくりの時間
寮のコモンルームに行けば
みんなが集まっている



Thursday

バスに乗って行く
食料の買い出しも楽しみ

米や醤油などはたいてい手に入る。けれど好きな調味料があれば持って行くといい。

Friday

休みの前はゆっくりと
皆で映画を観たり
身体を鍛えたり

授業後はコモンルームで映画鑑賞したりキャンパス内のジムで汗を流して過ごす。

Saturday

キャンパスから出て
地域に触れ合う
貴重な週末の到来!

地元のイベントやスポーツに参加。楽しんだ後の夜は週明けまでの課題に取り組む。



Sunday

パース市内から足を伸ばし
観光やショッピングに

バスに乗ってピナクルズやロットネスト島へと1日観光。帰ったら1週間分の昼ご飯作り置きなども済ませれば翌週がラク。



MODEL
Case.2
PART II

海外での生活に慣れ
気持ちに余裕が。
能動的な授業スタイルにも
慣れていこう。

1 Week Schedule

	8:30	Afternoon	Evening
MON	自 習	授 業	自由時間
TUE	自由時間	授 業	自由時間
WED	授 業	自由時間	自 習
THU	課外活動		自由時間
FRI	自 習		自由時間
SAT	自由時間		
SUN	自由時間		自 習

※ECUとMUで授業のある曜日や時間は異なります。

Monday

Collaborative designの
授業で、多様性社会の
課題解決のプロセスを学ぶ

国籍によって課題の捉えかたが変わり、意見をまとめることの難しさを実感。

Tuesday

フィールドワークで
オーストラリアの歴史を学ぶ

Wednesday

授業は午前中で終了
午後はスーパーで1週間分の
食料を買い出しに

親元を離れての生活や、自炊をするのも今回がはじめて。でもPARTⅡともなるとしっかり自活のコツもつかめてきます。



Thursday

地元のマーケットで
Japan Festivalの広報活動

着付けができる友だちに着物を着せてもらい、地元の人たちにチラシを配る。



Friday

来週の授業に備えて
寮内でルームメイトや
留学生にアンケートを取る

図書館など大学内の施設は、留学生が自由に使える場所も多く、授業に臨むための事前準備にぜひ活用を。



Saturday

クラスの友人とパース郊外の
Cohunu Koala Parkへ
コアラを抱っこさせてもらう

とにかくパース近郊は観光スポットが多く、週末どこに出かけるか計画を立てるのが楽しみに。



Sunday

自炊はお休み
パースのカフェを巡ったり
日本食を食べたり











異文化に触れ、自ら進んで交流することで
「真の国際人」への扉が開く

アクティビティ

イベントの企画運営や、歴史的な名所探訪、スポーツ、街歩きなど幅広い学びを通して、
さまざまな国の人たちと交流。楽しみながら国際性や柔軟な対応力を身につけます。

アクティビティの一例



Japan Festival開催
（日本紹介イベント）

在パース日本国総領事館、日本人会などの協力を仰ぎながら学生自らが企画運営。書道パフォーマンスなどを披露します。



フリーマントル訪問
（パース近郊の歴史ある街）

オーストラリア囚人遺跡群として世界遺産登録されているフリーマントル刑務所や博物館、マーケットなどを見学します。



カバシャム・
ワイルドライフパーク

生き物を自然に近い状態で飼育する動物園。コアラやウォンバットなどオーストラリアの固有種との記念撮影や、触れ合うことができる絶好の機会です。

「世界で一番美しい都市」と呼ばれる、
西オーストラリアの州都パース。
国際色豊かな街で充実した学びの時を。



○時　差：1時間　○フライト時間：約11時間

留学先のパースは「世界で一番美しい都市」とも言われており、英国「エコノミスト社」によるランキングで、過去10年以上「最も住みやすい街」に選出されています。海外出身者の割合が人口の30%以上に達し、異なる文化が共生する多様性にあふれた街としても知られています。多数の高層ビルが林立するパース市街や、ニューヨークのセントラルパークより大きなキングスパーク、インド洋沿いの美しいビーチ、さまざまな歴史的な建造物など、多彩で魅力的な景観が広がっています。



ロットネスト島

パース沖合に浮かぶ小さな島。島全体が国立公園に指定されており、エメラルドグリーンの海と白い砂浜が魅力の人気No.1観光地。ここにしか生息していない有袋類、クオッカが出迎えてくれます。



キングス・パーク

市内中心部にある広大な公園。園内にはバーベキュースポットや植物園、カフェ、レストランなどが点在ししています。展望台からは市内を一望でき、特に夜景の美しさは秀逸です。



ピナクルズ（ナンバン国立公園）

パースからクルマで約3時間。インド洋に面するナンバン国立公園内にある、石灰岩が浸食してできた奇岩群です。ピナグルズとは尖塔の意味。3〜5mの岩が林立するその風景は神秘的です。



ランセリン砂丘

西オーストラリア州最大の砂丘。「西オーストラリアの雪」と呼ばれる真っ白な砂がどこまでも続きます。インド洋の美しい青い海と空、白い砂のコントラストは息をのむほどの美しさです。

留学サポート

不安を解消し、充実した留学生活を送るために都市大では、
留学中のサポートから留学後のフォローまで、
万全の体制であなたの挑戦をバックアップします。

留学準備も、留学中の安全サポートも

TAPアプリで安心管理



留学中の緊急連絡先や派遣先大学の窓口など、常に持ち歩くスマートフォンからワンタッチでアクセスできるアプリです。また、ウェブサイトや募集要項、ハンドブックなどの情報を、このアプリがポータルとなって確認できます。

主な機能

① **緊急時に必要な連絡先にワンタッチでアクセス**
- ・警察・消防・救急車
- ・留学生サポートライン
- ・東京都市大学国際支援課
- ・在パース日本国総領事館
- ・各派遣先大学（通常窓口、緊急窓口など）

② **課外活動など予定がすぐわかるカレンダー機能**
③ **都市大や派遣先大学と個別メッセージのやりとりが可能**
④ **TAPウェブサイト、WebClass、などTAP関連ウェブページのリンク集**

留学中の相談先

TAP専属現地スタッフ

留学中、派遣先大学には、TAP専属のスタッフがいます。日本人又は日本語の話せるスタッフがいますので、体調不良や心配なことがある場合でも、安心して相談できます。

TCUオフィス

派遣先大学には、TAP参加学生をサポートする国際センターなどの窓口（オフィス）があります。授業以外でも気楽に訪ねてください。皆さんの色々な相談にのってもらえます。

バディ（アシスタント学生）

留学期間中は専門のトレーニングを受けた学生スタッフがバディとして支援してくれます。留学直後のオリエンテーションから様々な連絡やイベントなどをお手伝いしてくれます。



留学中の滞在

学生寮

1ユニットは5～6名で、リビング、キッチン、バスなどは共有のため自然に国際交流が図れます。

※現地の入寮状況により、外国人と同室にならない場合があります。



学生寮の一例

ホームステイ

現地の一般家庭に滞在し、ホストファミリーと生活を共にします。日常的に英語に触れながら、オーストラリアならではの生活習慣や文化を自然に体験することができます。多様性と多文化を特徴とするオーストラリアでは、さまざまなタイプのホストファミリーが留学生を受け入れています。



写真はイメージです

ビザの申請

豪州大学の留学査証（ビザ）取得手続きは非常に複雑ですので、本学指定の旅行代理店を通してビザ（査証）を申請していただきます。

留学中の保険

留学中は本学指定の海外旅行傷害保険にご加入いただきます。トータルサポートサービスにより、医療や生活に関する様々なサポートを受けることができます。

サポートの例

■ ケガ・病気など
「日本語が通じる医療機関を手配してほしい」「入院したので家族に連絡してほしい」「キャッシュレスで受診したい」など、医療に関するサポート。

■ 留学生活
「寮生活に必要な生活用品はどこで買えばいい？」「日本に荷物を送る場合は？」など、生活に関する困りごとのサポート。

■ トラベル
事故やトラブル以外でも、ホテルや交通機関の予約・手配など旅行に関するサービス。

奨学金

種別	概要	対象	金額
1 TAP奨学生制度	1年次前期成績、TOEIC®スコア、語学準備講座の出席率と成績を総合的に評価した結果付与される奨学金	上位10名	本学へ支払う参加費90万円が免除されます
2 TAPアワード	派遣先大学での成績やアクティビティへの貢献度等を総合的に判断した結果付与される奨学金	各サイクル上位10名	1人あたり30万円
3 日本学生支援機構 海外留学支援制度（協定派遣）	日本学生支援機構（JASSO）による給付型の奨学金	JASSOの成績基準を上回る学生のうち、各サイクル上位35名※1	月額11万円×4か月※1
4 LBAサポート Let's Be Active in TAP	留学中の、学生による英語を使った自発的な活動を支援する奨学金	個人またはグループ	活動1件あたり上限5万円

※1：過去の実績です。過年度実績では採択を受けておりますが変更の可能性があります。
※ 1 に選ばれた学生は 2 3 の対象外です。 2 3 4 は重複可です。

東京都市大学オーストラリアプログラム 概要

プログラムの内容は変更する可能性があります。詳細は必ず募集要項をご覧ください。

参加定員	サイクルA	環境学部 メディア情報学部 デザイン・データ科学部 都市生活学部 人間科学部	合計 300名	サイクルB	理工学部 建築都市デザイン学部 情報工学部 創発デザイン工学環 ※2027年4月新設 デザイン・データ科学部	合計 300名	
語学準備講座	2027年5〜7月、9〜12月						
留学期間	サイクルA	2028年2〜5月		サイクルB	2028年8〜11月		
カリキュラム	PARTⅠ：英語科目（7週）＋ PARTⅡ：教養科目（6週）						
派遣先大学	エディスコーワン大学／マードック大学［オーストラリア パース］						
滞在先	学生寮 または ホームステイ						
参加費用	下記費用を最大4回に分けてお支払いいただきます。 約1,700,000円 （本学に支払う参加費：90万円＋本学指定の旅行代理店に支払う参加費：約80万円※） ※旅行代理店に支払う参加費は、為替レートや燃油サーチャージ等の状況により変動します。		内訳	参加費用に含まれるもの 【本学に支払う参加費】以下の費用を含みます。 □ 派遣先大学授業料 □ 滞在費（学生寮またはホームステイ） □ 公式アクティビティ参加費 □ 語学準備講座受講料（※別途、教科書代が必要です） □ オーストラリア連邦政府指定 留学生保険（OSHC） □ TOEIC®受験料 □ 留学準備研修費 【本学指定の旅行代理店に支払う参加費】以下の費用を含みます。 □ 往復航空運賃 □ 査証（ビザ）取得費用・代行手数料 □ 海外旅行傷害保険料 参加費用に含まれないもの 語学準備講座の教材費／パスポート取得費／自宅から集合場所（空港）までの国内交通費／超過手荷物料金／国際宅急便／食費（ホームステイの場合は2食付き）／コインランドリー（洗濯）費用／通信費（SIMカード購入費など）／現地交通費（空港〜学生寮またはホームステイ間の送迎を除く）／海外旅行傷害保険の持病・既往症特約／健康診断費（ビザ取得の際に移民局に求められた場合のみ）／オプショナルツアー費／ビザ申請に必要な証明書類の取得費用および、外国籍または二重国籍の場合に課される追加手数料／ビザに必要な手続きが遅れた際に求められる追加手数料／学生寮退去の際に原状回復が十分でない場合に課される清掃費用／火災報知器を作動させた場合に課される費用／インロックの際の手数料／その他個人的な支出 ※基本的に上記「参加費用に含まれるもの」以外		

※学部・学環・学科によりサイクル（留学の時期）を指定。参加定員を超えた場合は選考があります。 ※留学中も東京都市大学の授業料は納入する必要があります。

TAPは本学が補助を行う「公式プログラム」ですので、語学準備講座の出席率や成績などの参加継続条件、提出物の期限などルールが細かく決められており、一定の条件を満たさない場合参加継続が認められません。詳しくは募集要項をご覧ください。

Q & A

Q 参加費はいつ納入するのですか

参加費は最大4回に分けてお支払いいただきます。入学後の本登録時（4月）には、初回納入金として40万円をお支払いいただき、その後、残額を3回に分けてご案内いたします。
詳細は募集要項をご確認ください。

Q 行き先（派遣先大学）は選べますか

派遣先大学は選べませんが、どちらに派遣された場合でも、自分の英語力に合った授業を受けることが可能です。

Q 留学中はどこに滞在するのですか

学生寮に滞在するか、ホームステイになります。

Q 奨学金はありますか

TAP奨学生制度、TAPアワード、JASSO奨学金等充実した奨学金制度があります。
奨学金の詳細はP.11

Q TOEIC®等の英語試験はいつ受けるのですか?

プログラムへの参加が決まったら、留学前と帰国後に受験し、どれだけ英語力が伸びたかを測定します。

Q 生活費はどれくらいかかりますか

現地での生活費は、近年の円安および世界規模の物価の上昇によって、個人差はあるものの滞在中約40〜50万円ほどがかかることが多いようです。

Q 申込はいつまでですか

入学手続き期限と同様です（右記参照）。仮登録専用サイトからお申し込みください。期限を過ぎた場合は、入学後も仮登録可能な期間が数日間設けられておりますので入学後に手続きしてください。

- ■総合型選抜
- ■帰国生徒特別入試
- ■学校推薦型選抜

12/ 7（月）

- ■外国人留学生特別入試
- ■国際バカロレア特別入試
- ■社会人特別入試
- ■付属進学制度

1/ 7（木）

- ■共通テスト利用入試・前期
- ■一般選抜・前期

2/18（木）

- ■一般選抜・中期 3/ 2（火）
- ■一般選抜・後期 3/14（日）
- ■共通テスト利用入試・後期 3/24（水）

受験英語で基礎を培い
準備期間で成長を実感
留学先での出会いを機にAIエンジニアへ



留学生を集めたパーティで、別の大学の留学生とも交流

TAPに参加するまでは外国に行く経験も海外の人と話す機会もなく、英語力も「受験科目の中では得意なほう」という程度でした。語学準備講座では、一つひとつの単語をどうにか話すような状態からのスタートでしたが、同じクラスに英語が得意な学生がいて、彼らに教えてもらいながら勉強できたのが良かったです。留学する前に「日本で英語に囲まれる」期間を送れる仕組みは、私に合っていたと思います。留学先では、豊かな自然の中でのびのびと生活できました。寮のルームメイトも全員外国人で、毎日がリスニングとスピーキングの連続。そこで出会った友人の影響で、現在はソフトウェアエンジニアとしてAIを組み込んだプロダクトを作っています。近年はAIの進化によって人間の仕事がなくなる……とも言われていますが、そのAIに関する最新の技術情報は英語でリリースされています。言語の壁を超えてさまざまな情報とコミュニティにアクセスして「ゼロからイチの創造力」を育ててほしい。TAPは、AI社会を生き抜くための知的好奇心を育む、本当に良い機会だと思います。



KDDI
アジャイル開発センター株式会社

大岩 潤矢さん

2022年 メディア情報学部 社会メディア学科 卒業
愛知県立 半田高等学校 出身
2019年 マードック大学（TAP参加）

OIWA Junya



気さくなルームメイトとのツーショット

INTERVIEW　TAPを経験し、社会へ踏み出した卒業生

TAPがきっかけでドイツの大学院へ進学
新しい世界で新しい価値観に触れて
これまでの「当たり前」を見直したい

準備期間中は正直なところ「みんなの話についていくのがやっと」という状態でした。とくに雑談が難しく、分からないことをノートにまとめて、文章や会話の「型」を覚えるようにしていきました。留学はとても刺激的でした。個人のコミュニケーションはもちろん、公的な場所での振る舞い方や文化の背景にある価値観まで、さまざまな違いを感じられました。そこから「別の国の価値観に基づく教育」を受けてみたいと思うようになり、帰国後もAOFUAサマーキャンプやさくらサイエンスプログラムにバディとして参加。現在はドイツのバウハウス大学で「データ駆動型都市政策」に関する研究をしています。まずは自分の探求を進めて研究分野を修め、自分の中に染み込んだ「当たり前」を見直し、視野を広げていきたい。そこで得た経験をもとに、自分が社会に対してどんな付加価値を提供できるかを考えていきたいです。経験は、行動しないことには生み出せません。あまり迷いすぎず、動いてみてから考えてもいい……TAPはそれを実感する機会になりました。



エディスコーワン大の友人の実家で、友人の親戚との夕食



マウントローリーの公共空間で、現地の学生たちと



バウハウス大学ワイマール　大学院 ヨーロッパ都市学専攻

増子 翔矢さん

2025年 都市生活学部 都市生活学科 卒業
福島県立 郡山高等学校 出身
2022年 エディスコーワン大学（TAP参加）

MASHIKO Shoya

都市大は、「実践的な専門力」を有し、「世界で活躍できる人材」を育成します。



英語を自由に駆使し専門性と実践力を兼ね備えるグローバルリーダーを育成することが都市大の使命です

この小さな惑星に住む私たちは、国や文化、民族の境界を超越し、ともに支えながら働き生活しています。しかしながら、日本に住む次世代を担う学生諸君は、地球規模でお互いが支え合っている世界を体感する機会が限られています。こうした現状認識からTAPはスタートしました。

TAPは単に英語を学習するだけのプログラムではありません。参加する学生諸君が人々の多様性がもつ可能性を肌で感じ、東京都市大学とオーストラリアの名門大学が連携して提供する、知的好奇心と能動性を刺激する授業を通じて、グローバルな思考を身につけるためのプログラムです。キャンパスにおける様々な人々との交流を含め、実感したこと、学んだこと、そしてそれによって得られた自信は、参加した学生諸君がこの先、地球規模での協働を通じて社会にイノベーションをもたらす基盤になるはずです。

また東京都市大学は、TAP修了後のプログラムとして、「アジア・大洋州5大学連合（AOFUA）プログラム」、エディスコーワン大学との「ジョイントディグリープログラム」など、世界でリーダーシップを発揮するためのプログラムを用意しています。

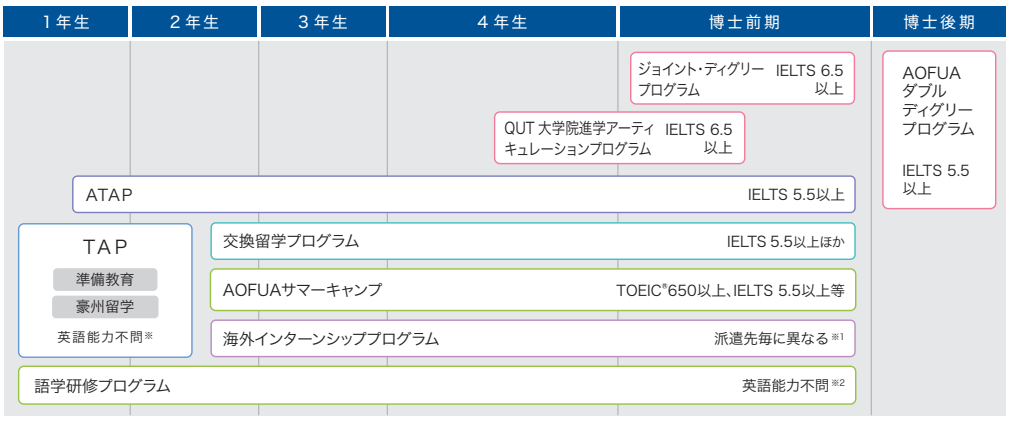
多種多様な機会を活用するか否かは皆さん次第です。是非、TAPに参加することで未来を拓いていってください。

東京都市大学 学長　**野城 智也**

東京都市大学の国際人育成プラン

東京都市大学は「実践的な専門力を獲得」し「世界で活躍」できる人材を育成するため、国際的な教育・研究環境を整備するなどのグローバル化に取り組んでいます。新入生の約4人に1人が参加するTAPをはじめ、ATAP、アジア・オセアニア地域のトップランク大学との交換留学制度など、入学から卒業まで国際性を磨くための機会を提供しています。

□ 主なプログラムと英語力の目安



※1：派遣先により応募条件が異なります。詳細は募集の際にご確認ください。　※2：国籍によってはビザの取得のため英語力の証明書が求められることがあります。

卒業時TOEIC®650点相当を目標とした英語力強化とそれを実現するカリキュラムへの改革を進めています。

本学卒業時の目標英語能力

TOEIC®
650
点相当以上



副学長（研究担当）兼
建築都市デザイン学部 都市工学科 教授

末政 直晃

“A journey is best measured in friends, rather than miles.”

By Tim Cahill

私はサバティカル制度を使って、オーストラリアのパースにある西オーストラリア大学で1年間過ごしました。パースは治安が良くて、人もとても温かく、初めての海外生活でもすぐに馴染める環境なので、同行した家族は結局パースで2年間暮らしました。大学ではいろいろな国の研究者や学生と交流する機会があり、その中には今でも連絡を取り合う“一生もの”の友人が何人もいます。こうした出会いは、留学しなければ得られない大きな財産だと感じています。旅行作家のティム・カヒルさんは「旅行は距離でなく、できた友達の数で測るもの」と語っています。旅は、友を作るために行くもの。きっと自分の視野を広げ、人生を豊かにしてくれます。ぜひ海外に飛び出してください。



西オーストラリア大の横を流れる
スワンリバーで遊ぶ



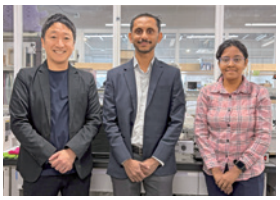
理工学部
応用化学科 教授

黒岩 崇

研究者生活のなかで国際連携やグローバルな発信は不可欠

自分の成果を発信するための言語を習得してほしい

学術の世界では、最新研究はまず英語で発表されます。日本語に翻訳されるものはその中のほんの一部。まず語学力を身に着けることで、自力でアクセスできる世界が大きく変わるのです。また、自分が先進的な領域や競争のある領域の研究に参加する際は、英語が必須になります。先進的な領域は人から興味を持ってもらうために多くの人が使う言語で発表する必要があり、世界中の研究室が成果を競い合うような分野では迅速な国際連携と世界に向けた発表が必要になるためです。生成AIが進化しても、自分が研究によって発見した世界で最初の成果は、自分の言葉で発信しなければなりません。研究者として世界に貢献することを目指す学生の皆さんには、ぜひ留学を通して自分の言葉を獲得してほしいです。



都市大で協同研究活動を行う
インド工科大学（IITH）の先生と学生と共に



環境学部 環境経営システム学科
大学院環境情報学研究科
東京都市大学・エディスコーワン大学
国際連携環境融合科学専攻 教授

木下 幸雄

オーストラリアの農業・資源経済研究者との

協働によるシナジー効果

オーストラリアに初めて留学したのは、1997年でした。約30年前、日本では話題になっていなかった「気候変動による水資源や農業への影響」が研究テーマとして注目を集めていたことに衝撃を覚えました。それが今や日本でも重要な社会課題となっていて、オーストラリアの研究者の先見性を思い知ることになりました。その後も、当時出会った研究者仲間と交流を続け、アデレード大学連携研究教授やニューイングランド大学連携研究員など私の国際的なキャリア形成を築くチャンスを与え続けてくれています。これから留学をめざす若い世代にも、海外の人々との協働でシナジー効果を狙ってほしいと願っています。私のような研究能力の強化という面だけでなく、それぞれの国が直面する社会課題とそれに対する努力について互いに応用可能か探求することで、国際社会にとって価値や解決をもたらす未来が拓かれるものと信じています。



オーストラリアの研究者と横浜で再会

After TAP

さらに1歩、世界に前進！

国際人育成プログラム

海外インターンシップ

本学では海外の職場で現地の方々とともに働く機会を提供しています。海外インターンシップは、自分達の学んできたことに対する実践の場として、また、他の国々の本当の姿を知る場として重要な役割を担っています。学生は限られた期間に成果を出すため懸命に努力し、大きく成長して帰ってきます。

主な派遣先

- □ 電子機器メーカ、研究機関など［タイ］
- □ 市役所、私立学校、ハーネスメーカ、建設業など［フィリピン］
- □ デベロッパー［オーストラリア］ □ めっき装置メーカ［ベトナム］
- □ 研究機関、不動産業［台湾］





インターンシップアワード2020 文部科学大臣賞受賞
詳細は本学ホームページをご覧ください。

交換留学プログラム／アジア・大洋州5大学連合（AOFUA）プログラム

本学に在学しながら、一定の期間（半年～1年）、海外の協定大学で学ぶ留学制度です。各校との交流協定に基づきますが、留学期間中、海外大学での授業料の免除が受けられるほか、海外で取得した単位が本学の単位として認定されます。

ジョイント・ディグリー・プログラム

本学大学院環境情報学研究科とエディスコーワン大学（ECU）School of Scienceは、大学院博士前期課程のジョイント・ディグリープログラムを2024年4月に開設しました。専攻名は東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻。同専攻の学生には、所定の要件を満たしたうえで、修士論文等の審査と最終試験に合格すれば、都市大とECUの連名による英文学位記＝ジョイント・ディグリー（環境学修士）が授与されます。



ATAP

Advanced TAP





英語上級者のためのプログラム

クイーンズランド工科大学（QUT）のディプロマコースに16週間留学する、英語上級者向けプログラム。ディプロマコースの科目は、QUTの正規開講科目でQUTに在籍するオーストラリア人学生および、外国人留学生とともに学び単位取得を目指します。



■ 概　要

エントリー

毎年9月頃を予定しています。

派遣先大学

クイーンズランド工科大学 Queensland University of Technology（略称QUT）

オーストラリア クイーンズランド州 ブリスベン

参加費用

約1,700,000円

（本学に支払う参加費：90万円＋実費：約80万円※）

※実費は為替レートや燃油サーチャージ等の状況により変動します。

ATAP2027の実績です。出発年度により金額は異なります。
詳細は出発年度の募集要項をご覧ください。

内訳

本学に支払う参加費に含まれるもの

- □ 派遣先大学授業料
- □ アコモデーション費用
- □ オーストラリア連邦政府指定留学生保険料（OSHC）
- □ 帰国後のIELTS受験費用

本学に支払う参加費に含まれないもの

往復航空運賃／海外旅行傷害保険料／査証（ビザ）取得費／査証（ビザ）取得手数料／パスポート取得費／自宅から集合場所（空港）までの国内交通費／超過手荷物料金／国際宅急便／食費／コインランドリー（洗濯）費用／通信費（SIMカード購入費など）／現地交通費（空港～学生寮またはホームステイ間の送迎を除く）／海外旅行傷害保険の既往症特約／健康診断費（ビザ取得の際に移民局に求められた場合のみ）／オプショナルツアー費／ビザに必要な手続きが遅れた際に求められる追加手数料／その他個人的な支出

※基本的に上記「参加費用に含まれるもの」以外

留学期間/時期

16週間　2月～6月

滞在先

ホームステイ

参加定員

50名

QUT出願条件

ATAPはQUTのディプロマコースに入学します。
出願は以下の全ての条件を満たす必要があります。

❶ IELTS5.5以上　各サブスコアが5.0以上
❷ GPA2.5以上であること

※QUTの出願条件は事前の通知なく変更される場合があります。
※国籍によっては、ビザの取得のためIELTS5.5を超える英語力を求められることがあります。

カリキュラム

必須の英語科目（Academic Communication 1）
以外に、下記科目群より2科目を選択します。

□ ビジネス　□ 工学　□ IT
□ メディア　□ 健康科学



クイーンズランド工科大学

BRISBANE
AUSTRALIA

世界大学ランキングでは、上位1％にランクイン。約50,000人の在学生のうち、16%を世界140ヵ国以上からの留学生が占め、インターナショナルな雰囲気も魅力です。ブリスベンの中心街に位置するガーデンズポイントキャンパスとケルヴィングローブキャンパスには、大学生活を充実させるための様々な施設が整っています。



観光とは全く違う「留学生活」の楽しさ
自分の専門分野を外国語で学び直し
情報発信や活動の手段が広がりました

甘利 直花さん

情報工学部 知能情報工学科 4年
東京都 私立広尾学園高等学校 出身

AMARI Naoka

もともとTAPに参加するつもりでいたのですが、入学してすぐにATAPのパイロットプログラムが始まりました。「自分の専攻分野である情報工学を、クイーンズランド工科大学のカリキュラムの中でそのまま学べる」という、夢のような学習環境が実現することが分かり、迷いなくATAPに切り替えました。昔から旅行や海外渡航プログラムに参加していたので外国に行くことそのものには慣れていたのですが、留学先として暮らしてみると、観光での短期的な滞在とは違い、公共交通機関や地元のお店を使ったり、ホストファミリーと深いコミュニケーションを取ったりすることも出てきます。戸惑いもありましたが、コミュニケーションの「質」に気付かされる貴重な経験でした。大学では、ソフトウェアとハードウェアの授業を選択しました。特にハードウェア分野では、オーストラリアを代表する工科大学でRaspberry PiやPythonを学べたのが貴重な経験だったと思います。ハード・ソフトともに、数学や物理、科学に関する専門用語が英語でどう表現されているのかやレポートの構成、引用のルールといった、QUTならではの学習ができました。これからも日本と海外、そして情報工学と社会をつなげるような研究を進めるつもりです。

ゴールドコーストにある遊園地で、友人と

メルボルンでみたきれいな夕日

INTERVIEW ATAPを経験した先輩に聞く



勉強、ホームステイ、観光、スポーツ
オーストラリアでの大学生活に
「ちょうどいい難易度」で挑戦できます

安部 士優さん

都市生活学部 都市生活学科 4年
静岡県 私立沼津学園桐陽高等学校 出身

ABE Shu

中学生の時にアメリカでホームステイしたのをきっかけに、海外に興味を持つようになりました。それで高校も留学制度のある学校を選んだのですが、コロナ禍で留学中に多くの制限があり、悔しさが残りました。ATAPには、その悔しさをバネに、自分の専門分野を他国の視点から学び、将来グローバルに活躍するための理解を深めたいという思いで参加しました。ATAPでは特別なカリキュラムではなく、現地の学生と同じ授業を受け、レポートで単位を取得します。2000語にのぼるレポートを書くこともあり、それには苦労しました。でも勉強漬けというわけでもなく、休日は旅行したりスポーツイベントに参加したり。特にマラソンのイベントでは、言葉が通じなくても他のランナーと自然に一体感が生まれ、スポーツは言語の壁を超えると感じました。充実した時間を過ごせたのは、温かいホストペアレンツや歳の近い兄弟、ペットに恵まれ、居心地よく過ごせたことも大きかったです。ATAPは決して楽ではありませんが、充実したサポート体制のもと、努力すれば乗り越えられる「ちょうどいい難易度」だと感じました。心配しすぎず、楽しむつもりで飛び込んでほしいです。

オペラハウスの対岸から

QUT CLASSIC（大学のマラソンイベント）で10キロ完走後にもらったメダル

TAP
TOKYO CITY UNIVERSITY
AUSTRALIA PROGRAM

協 力

ECU EDITH COWAN UNIVERSITY
エディスコーワン大学

MU Murdoch University
マードック大学

GOVERNMENT OF WESTERN AUSTRALIA
西オーストラリア州政府

留学プログラムWebサイト

TAPとATAPの詳細情報を紹介するWEBサイト。プログラムの特徴、費用や奨学金、滞在中の生活アドバイス、留学先の大学や街の情報、先輩たちによるリポートなど、リアルでためになる情報満載。ぜひご覧ください!

留学中の学生が現地の“今”をリポート

学生たちの現地リポートを掲載。新着情報や、学習面、イベント、寮生活などさまざまな項目別に検索できるので、知りたい情報に即アクセスできます。



https://tap.tcu.ac.jp/

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

□ お問い合わせ [国際課 TAP担当] □ 世田谷キャンパス：〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1

E-MAIL: studyabroad@tcu.ac.jp TEL: 03-6809-7471 (代)

都市大 留学 検索